

## 鹿児島の植物 75

## 山に秋の花を見に行こう

植物担当 久保 紘史郎

四季折々の花を見ながらの山登りは楽しいものです。秋のおすすめの花と、観察できる山を紹介します。

## タカクマホトトギス（ユリ科）



花期は9月～10月上旬。鹿児島県の高隈山や肝属山地だけに生育する大隅半島の固有種です。登山道沿いや岩場に見られます。おすすめは高隈山の御岳です。登山口周辺から、すぐに観察できます。

## ハナカズラ（キンポウゲ科）



つる状に伸びるトリカブトの仲間です。花期は9月下旬から10月中旬。九州の一部地域だけに生育する絶滅危惧種です。鹿児島県では霧島山系で見られます。標高の高い場所ではあまり見られず、烏帽子岳山頂付近(988m)や、霧島山系の標高700～1000m程度の林縁などに見られます。

## キバナアキギリ（シソ科）



小学校などでよく栽培されるサルビアの仲間です。花期は9月下旬から10月上旬。鹿児島県では点的に確認されています。大隅半島南部にある稲尾岳(930m)山頂の稲尾神社付近には群生地があります。

## オオマルバノテンニンソウ（シソ科）



思わず見返してしまうほど美しいことから「見返り草」の通称で親しまれています。花期は9月中旬～10月中旬。霧島山や高隅山、肝属山地などで群生が見られます。以前は紫尾山にも大きな群生地が見られましたが、現在はシカの食害によりほとんど見られなくなりました。